



## 初等部だより 11月号

鎌倉女子大学初等部  
令和2年10月29日  
第7号

### 楽しかった運動会

部長 勝木 茂

一週間前の天気予報では雨だったのですが、みんなの運動会をやりたいという願いが届いたのか、2日前から予報が曇りに変わった10月22日(木)、時折日が差す絶好のコンディションの中、無事に初等部運動会を実施することが出来ました。



開会式は、広い第一グラウンドを目一杯使い、ソーシャルディスタンスを確保しながら全初等部生が整列しました。今年度、全員が一堂に会するのはこれが初めて、選手宣誓もエール交換も感染症対策をしながらとなりましたが、落ち着いた雰囲気の中でしっかりと集中している姿が素晴らしかったです。

今年の運動会テーマは「離れてても 心は一つに まとまって 汗と 涙と 大接戦」でした。応援についても声を出さずに、ペットボトルを使った手作りのマラカスを手に、応援団のリードのもと、よくまとまってしっかりと出来ていました。競技についても、感染症対策を第一に様々な工夫をしながら行いました。どの競技も大接戦、前半の徒競走が終了した時点では、赤組385点白組386点、まさに1点差の大接戦となりました。この得点の中間発表時、1点差ではありますが、大喜びする白組1年生、がっかりしている赤組1年生、そして、「まだまだ、たった1点差だよ。逆転しよう！」と励ます赤組応援団の姿がとても印象的でした。

閉会式、これまた全員がきちんと整列し、ほとんど私語が無く最後まで立派にできました。わたしは、これまで多くの学校の運動会を見てきましたが、運動会の閉会式は、その

学校の今の状況をよく表していると感じています。手前味噌ではありますが、全体の場での初等部生の成長を感じ、とても嬉しい気持ちになりました。

今年の運動会は、白組の優勝、赤組の準優勝となりました。どちらの組も、一人一人の初等部生も、今持っている力を精一杯発揮し、最後までよく頑張ったと思います。閉会式での両応援団長の言葉には、勝ち負けだけではなく、運動会ができたこと、みんなが頑張ったことへの感謝の気持ちが込められており、とても清々しい場面でした。両応援団長、そして応援団、今年の運動会をよく盛り上げてくれました。

実施後の一年生の感想には、「はじめてのうんどうかい、たのしかったです。ときょうそうは4いでしたが、おかあさんは、ほめてくれてとってもうれしかったです。」「こう学ねんの人たちもがんばっていました。みんなのちからでたのしいうんどうかいになりました。」等、やはり運動会は楽しかったのだと思いました。これまで何十回も運動会やってきたわたしも、改めて運動会は楽しいと思いました。



今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、やむを得ず保護者の皆様の観戦をご遠慮いただくことにいたしました。また、そのことにご理解をいただきましたこと誠にありがとうございました。まだまだ、感染症予防は油断すること無くしっかりと継続していかなければなりません。引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。